## 入庁から半年と少しが経って

直方支部 松原 ゆうか

近年稀な人数である42人の同期とともに福岡県の土木職員となり、早いもの

でまもなく 8 カ月が経とうとしています。配属が建設課ということで工事の本

数があまり多くないそうで、つい最近になってやっと初めて完成検査を受けました。設計書の作成に現場管理、検査など覚えなくてはならないことがたくさんで、わかることが増えたな♪と少しだけ自信が芽生え始めたかと思えば、覚えたこと以上のわからないことに直面し自信の芽が摘まれていくという日々が未だに続いています。1日でも早く立派に仕事をこなす職員になりたいと思い、先輩方の姿を盗み見て頑張る毎日です。

話は変わりますが、私は大学時代に研究で地理情報システム(以下 GIS:

Geographic Information System)用いて研究を行っていました。ゼネコン、コンサ

ルタント,自治体,その他いずれに就職したとしても大学で専門分野として研究したことをそのまま実社会で活かすのは難しいことだと考えていた私は,自

治体で GIS を取り入れているところは少ないことは知っていましたが、活かせな

くても技術として少しでも自分に残るものを得ることができればということで

GIS を学ぶことにしました。入庁するまでは CAD のことはほとんど知らなかっ

たため、GIS と同じようなものだろうと思っていましたが、実際できることが全く違いました。そこで、どちらもまだまだ使いこなせるわけではありませんし、そもそも用途が違うとは思いますが、入庁から8ヵ月間 CAD を扱ってきて感じ

た CAD と GIS の違いと良いところをかなり主観的ですが少しだけ書いてみよう と思います。

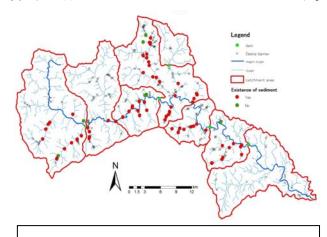
まず1点目です。CADとGISで同じものを描くと、当然どちらも一見すると

同じような図面データになります。ここで、違いとして CAD はあくまで線など

で描いてある図で大きさや長さの計測はできますが、GIS は視覚的な図面情報の

中に川なら川,道なら道の長さや名前,位置など様々な属性情報を持たせることができます。そのため、1度データとして入力しておけば、図面を扱いながら知りたい情報が出てきたときはわざわざ別の書類を取り出して探す手間が省け、机の上も書類の山にならずに済みます。

を行うことができます。私は、道路建設課なので苦情など地元の方からの電話を受けることはあまりありませんが、たまに知らない地名や河川名、橋梁名などを言われて戸惑うこともあります。こんな時、「管内のすべての地名や河川名、橋梁名などが入力されているデータがあれば、検索をかけてすぐに地点がわかるのに。そうすれば、依頼主をお待たせせずにすぐに話が進められるのにな。」と思います。また、工事現場からどこの処分場が一番近いかも検索を使えばすぐに見つけられるので、少しではありますが調べる手間を省くことができます。また、解析については道路建設を行う上で今のところ必要性は感じられませんが、防災などの分野では防災情報をよりわかりやすく住民の方々に提供できると考えます。また、解析の仕方はさまざまなので防災のみならず、さまざまな分野で活用できるのではないかと思います。



大学時代 GIS で作成したデータの1つです。

これは、標高データから抽出した河川のデータに対して入力した情報に検索をかけて、必要な情報のみを抽出したものです。

くなるのではないかと思います。

## 3点目は、1点目で述べたように

図面に様々な情報を持たせること ができるので、データ作成者ので、前を入力しておけば、誰が計り、計をしたのかがすぐにわかりを引きいたのがするというでは、質問いるのを生れたのではあります。また、シンは、いったからは、いったが、検をできるので維持管理もしゃするので維持管理もしゃ

以上で述べた点では GIS の方がいいなっていうような表現になってしまいましたが、最後は、図面の描きやすさとしてはやはり設計が用途のメインである CAD の方が細かな操作ができて使いやすいとは思います。図形の編集の仕方な

ど、GIS の方がいいと思う点もいくつかありますが、CAD のほうが総合的には使いやすい気がします。

ということで、今はまだ GIS のほうがいいなと思ってしまうのですが、これか

ら長い年月 CAD を使っていくうちに CAD のほうがいいと思えるように、頑張っ

て使いこなしていきたいと思います。いつか福岡県も GIS を導入できればという

## 願望もありますが…。

話はよくわからなくなってしまいましたが、優しく頼りになる先輩方のもとで、これから少しでも早く1人前になって安心して仕事を任せてもらえるように頑張りたいと思います。